

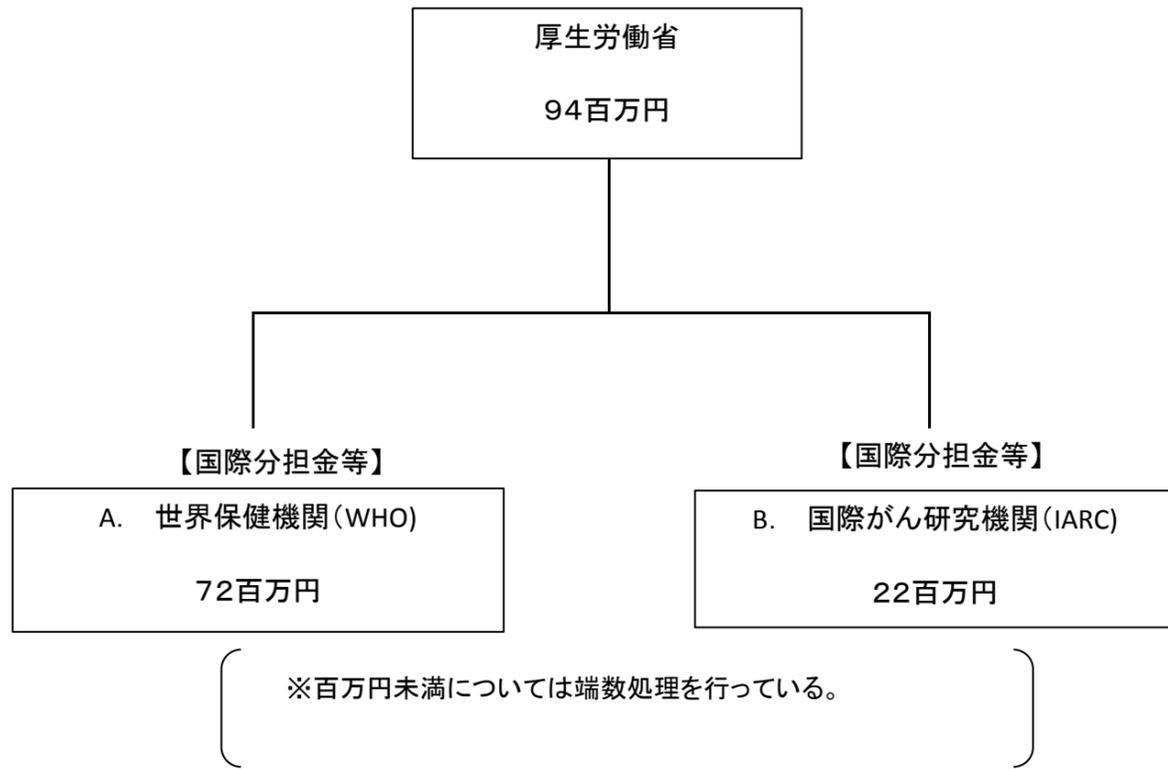
平成25年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	放射性物質による食品等の汚染に対する取組みへのWHO等による支援		担当部局	大臣官房		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成24年度		担当課室	国際課		堀江 裕		
会計区分	東日本大震災復興特別会計		政策・施策名	施策目標X-1-1 国際機関の活動への参画・協力や海外広報を通じて、国際社会に貢献すること				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	—		関係する計画、通知等	東日本大震災からの復興の基本方針(平成23年7月29日東日本大震災復興対策本部決定)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	放射性物質による食品等への影響等に関する評価に対して、世界保健機関(WHO)及び国際がん研究機関(IARC)の専門家による助言を行うとともに、それらの機関が、日本の取組みについて客観的な評価を行い、公衆衛生上の影響について諸外国から信頼される情報発信を行うことを目的とする。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	日本、欧米の専門家を世界保健機関(WHO)及び国際がん研究機関(IARC)に派遣し、その体制を強化した上で、それらの機関が、食品等に関する検査等を実施している状況を視察するとともに、日本の専門家と合同で会議を行い、飲食物摂取制限等について、日本政府に対して助言を行う。さらに、日本の取組みについて、客観的な評価を行った上で、公衆衛生上の影響について、諸外国から信頼される情報発信を行う。(平成24年度限りの事業)							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input checked="" type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	/	/	95	/	/	/
		補正予算	/	/	/	/	/	
		繰越し等	/	/	/	/	/	
		計	/	/	95	/	/	
	執行額	/	/	94	/	/		
	執行率(%)	/	/	99	/	/		
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		/	単位	22年度	23年度	24年度	目標値(年度)
	原子力災害からの復興を図るため、放射性物質による食品等の汚染に対する取組み等について、国際機関がホームページに掲載し情報発信した回数		成果実績	回	—	—	2	—
			達成度	%	—	—	—	/
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		/	単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	国際会議の開催回数		活動実績(当初見込み)	回	— (—)	— (—)	1 (1)	— (—)
単位当たりコスト	本事業は、国際機関が日本の取組みに対して助言を行い、また情報発信を行うことにより、内外の信頼を回復することなどを目的としており、「単位当たりコスト」の定量化は困難。		算出根拠	—				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	東日本大震災復興旧・復興にかかる国際会議に必要な経費	/	/	平成24年度限りの事業				
	世界保健機関等拠出金	/	/					
	計	0	0					

事業所管部局による点検					
	項目		評価	評価に関する説明	
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	震災からの復興に寄与するにとどまらず、内外の信頼を回復し、我が国の国際貢献にも大きな役割をもつため、国民のニーズがあると考えられる。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	国際機関への資金拠出は、主に国が実施すべき事業であると考えられる。	
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○	震災からの復興に寄与するにとどまらず、内外の信頼を回復し、我が国の国際貢献にも大きな役割をもつため、優先度が高いと考えられる。	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		—		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		—		
	単位当たりコストの水準は妥当か。		—		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		—		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		—		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		—		
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		—		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		—		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		—		
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		—		
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名		
点検結果	<p>諸外国から高い注目が寄せられている東京電力福島第1原子力発電所事故が与える食品等への影響等に関して、WHO及びIARCによる助言を得るとともに、今回の事故に伴う公衆衛生上の影響について諸外国から信頼される情報発信を行うことは、震災からの復興に寄与することだけにとどまらず、内外の信頼を回復し、また、我が国の国際貢献にも大きな役割を持つものであった。</p>				
外部有識者の所見					
点検対象外					
行政事業レビュー推進チームの所見					
-					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
-					
備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年	—	平成23年	新24-001	平成24年	24新-0001

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかについて補足する)
(単位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 においてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A. 世界保健機関(WHO)			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
拠出金	放射性物質による食品等の汚染に対する取 り組みへのWHOによる支援事業への拠出	72			
計		72	計		0
B. 国際がん研究機関(IARC)			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
拠出金	放射性物質による食品等の汚染に対する取 り組みへのIARCによる支援事業への拠出	22			
計		22	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	世界保健機関(WHO)	放射性物質による食品等の汚染に対する取り組みへのWHOによる支援事業への拠出	72		
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	国際がん研究機関(IARC)	放射性物質による食品等の汚染に対する取り組みへのIARCによる支援事業への拠出	22		
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					